



令和4年7月1日

7月号

品川区立第三日野小学校

校長 吉川 信次

<http://school.cts.ne.jp/hino3/>

開校100周年記念集会①

副校長 丸山 綾

今年度は開校100周年。記念誌作成、全校での航空写真撮影、6年生が企画中の記念品づくり、11月5日に行う式典など、100周年に相応しいお祝いイベントが開催されます。その中で、6月29日(水)には、「開校100周年記念集会①」が実施されました。(記念集会②は11月2日に実施予定)この活動は、昨年度の5年生が100周年に向けて考えた様々な活動の中の一つになります。活動のねらいは「店づくりやイベント企画を通して、児童が自ら計画・準備・実行するなど自治的に活動する力を養う」「店づくりやイベント企画を通して、みんなでつくりあげる喜びや楽しさを味わう」「第三日野小学校100周年を祝うことを通して、第三日野小学校の一員としての意識を高め、今後の学校生活の向上を図る」の3つになります。

1年生は、オープニングセレモニーで、大きなケーキを背景に100周年をお祝いしました。各学年のお店や出し物の紹介、そしてお祝いメッセージをニュースキャスター形式で楽しく伝えました。

2・3年生は、「みんなが仲良くなれるお店」をテーマに活動しました。学級会でお店の内容を考えたり、友達と相談したりして、自分の役割を楽しみながら、お店づくりを行うことができました。



4・5年生は、「開校100周年や地域・学校にまつわるもの」をテーマに活動しました。iPadで動画を作成する姿も見られました。ほんの数年前では考えられない活動です。お店屋さんでは、まるでミニシアターのような空間でした。子どもたちのアイデアには感心しました。

6年生は、昨年度の探究学習発表会で発表した企画の中から、イベント的な内容を中心に実施しました。第一体育館にはお化け屋敷、第二体育館には8種類の屋台、校内には大きな手作りお神輿の練り歩きなど、子どもたちの創意工夫が活かされたダイナミックな活動になりました。

準備の過程では、自分達のお店や活動を成功させるために、友達と協力しながら夢中になって活動する姿が多く見られました。自分達で試行錯誤を繰り返しながらお店を完成させていく姿は、体験的な活動を通じた協働的な学びだと感じます。さらに活動を通して互いの個性を知り、ときには友達と折り合いをつけて活動を進めることも人間関係を形成していく為には大切な学びだと思います。このような活動を通して達成感や充実感を味わうことで、よりよい集団へ成長していくことができると考えます。そして、当日は、学年や学級が異なる児童と共に楽しく触れ合い、交流することを通して、上級生は下級生に対して思いやりの気持ちをもって接し、下級生は上級生の話を聞いて楽しく協力して活動する姿が多く見られました。このような活動で得られる成果は、具体的な数値では見取ることは難しいです。しかし、子どもたち一人一人が活動のねらいに対して、振り返ることで自分が学んだことや次への課題を実感できると考えます。



3年ぶりに全校児童で開催できた集会活動。交流活動を通して学ぶ意義は大きいと改めて実感しました。「楽しかった!」と笑顔で教室に戻る子どもたちの姿を見ると嬉しくなりました。猛暑の中、暑さ対策のために首タオルなどのご用意にご協力いただきありがとうございました。感謝申し上げます。

